

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付をしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

フェンスは隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手すり等としては使用しないでください。

■施工上のご注意

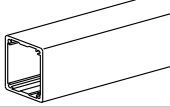
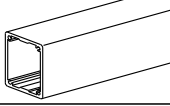
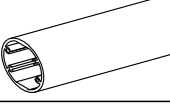
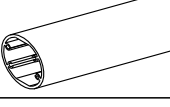
- 商品の施工については必ず取付説明書に従ってください。
また、施工完了後に取付説明書を施主様にお渡しください。
- 支柱の水抜き穴はモルタル等で塞がないでください。

■使用上のご注意

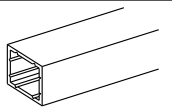
- 製品の破損などによる身体の損傷等の危険がありますので、以下の使い方を守ってください。
- フェンスを揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
- フェンスに雨具・洗濯物・布団等を載せないでください。

■梱包明細書

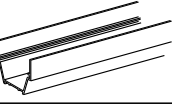

①柱

名称	略図	員数			
		主柱	端柱	主柱	端部コーナー柱
主柱(角)		1	—	—	—
端柱(角)		—	1	—	—
主柱(丸)		—	—	1	—
端部コーナー柱(丸)		—	—	—	1
注意シール		1	1	1	1
取付説明書		—	1	—	1

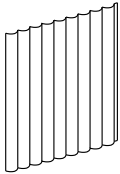
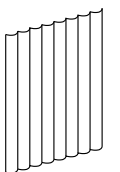
②胴縁セット

名称	略図	員数	
		2本入	3本入
胴縁(L=1900)		2	3

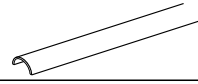

③間仕切り枠材セット

名称	略図	員数	
		角柱用	丸柱用
胴縁固定部材(角柱用)		2	—
胴縁固定部材(丸柱用)		—	2
胴縁組付ネジ φ4×12トラス1種		40	40
固定部材組付ネジ φ4×13バインドピース		10	10

④建仁寺垣ボードセット

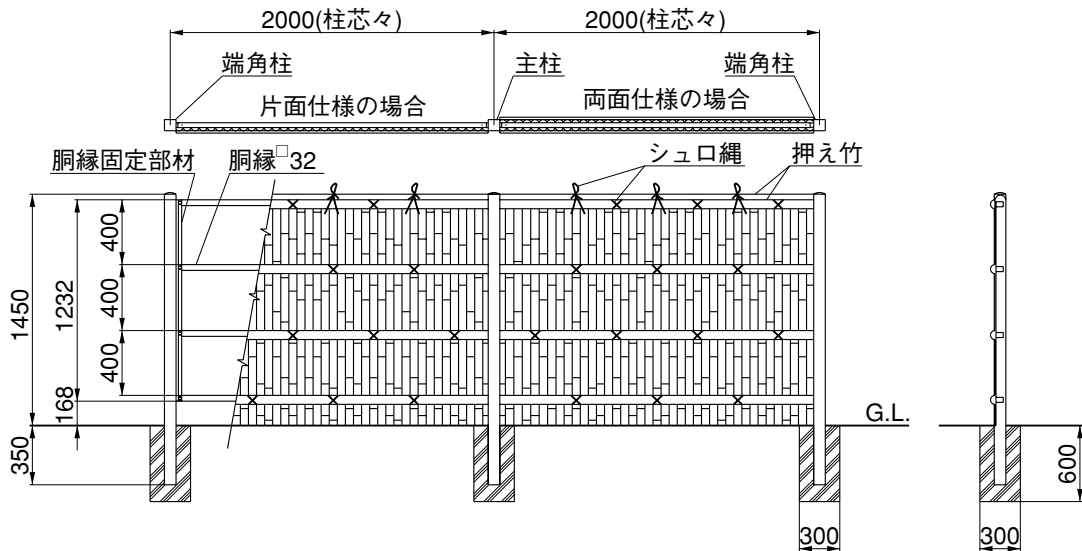
名称	略図	員数
建仁寺ボードA (巾=1028mm)		1
建仁寺ボードB (巾=945mm)		1

⑤押え竹セット

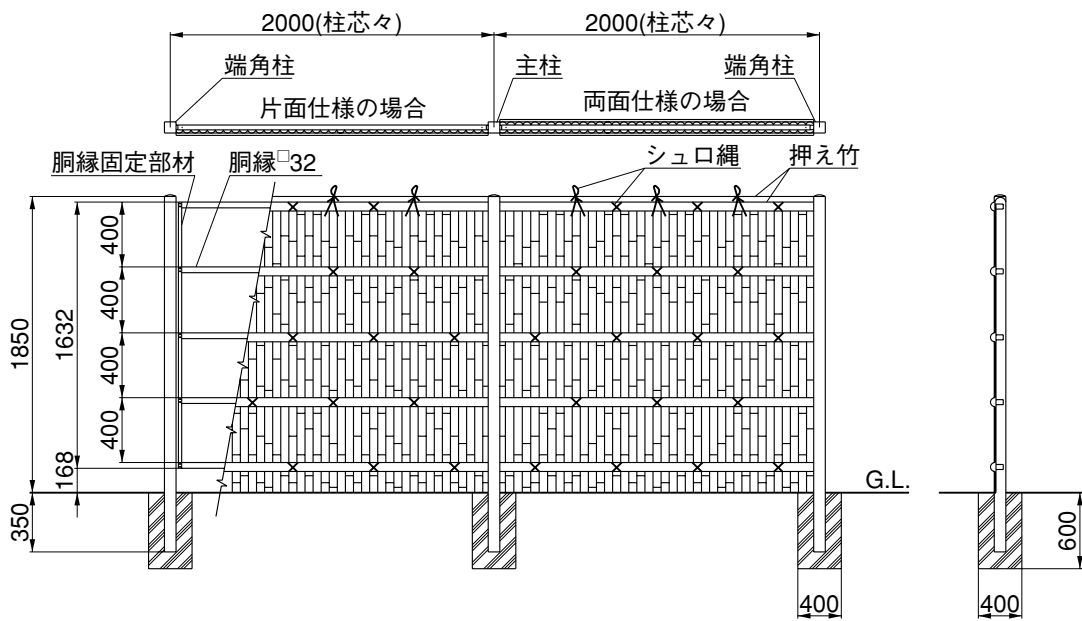
名称	略図	員数	
		2本入	3本入
押え竹(L=1932)		2	3
シュロ縄(10m)		2	3
ボード組付ネジ φ4×13バインドピース		24	24
押え竹取付ネジ φ4×50バインドピース		12	19

1.基本寸法および施工図

1-1 T-14サイズ

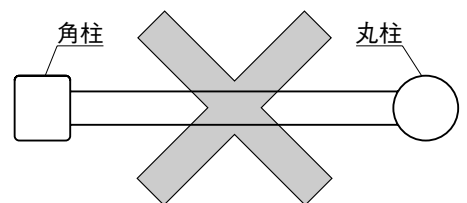
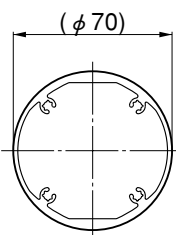
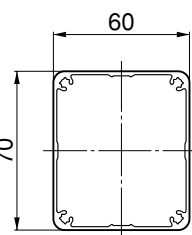
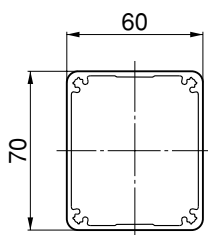


1-2 T-18サイズ



角柱

丸柱



施工できないパターン

主柱

端柱

主柱・端部コーナー柱

<注意>

- 両端の柱の形状が丸柱と角柱の組合せは、胴縁固定部材の形状により組立てができません。

2.部材組立て

$\phi 4 \times 13$ バインドピアス
 洞縁固定部材(角柱用)

$\phi 4 \times 13$ バインドピアス
 洞縁固定部材(丸柱用)

$\phi 5$ レベル孔

$\phi 5$ レベル孔

$\phi 5$ レベル孔

$\phi 5$ レベル孔

T-18サイズ T-14サイズ

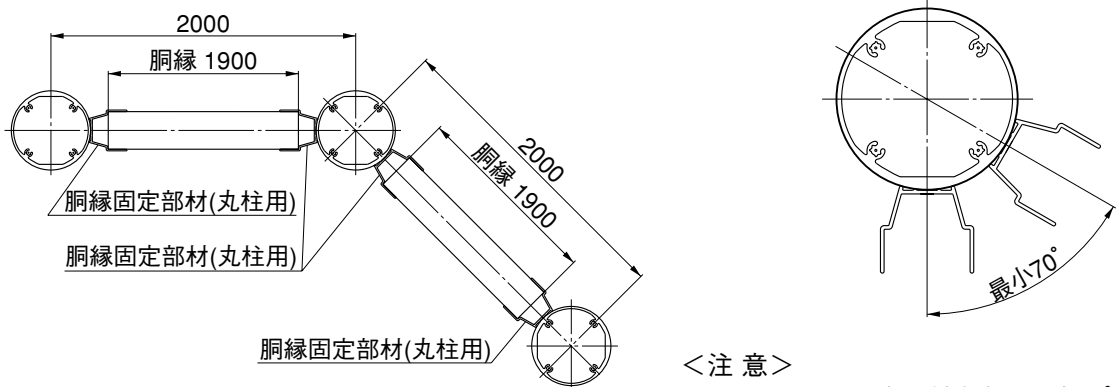
丸柱 角柱

施工できないパターン

❶ 柱に洞縁固定部材を $\phi 4 \times 13$ バインドピアスネジで固定して下さい。
 <注意>
 ● 両端の柱が丸柱と角柱の組合せは、間仕切り枠材セットが丸角柱専用のため施工できません。

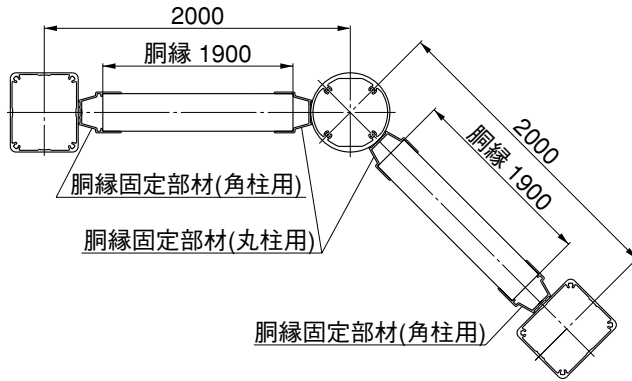
3.コーナー柱の取付け (コーナー柱は丸柱のみです。)

3-1 丸柱のみの施工の場合



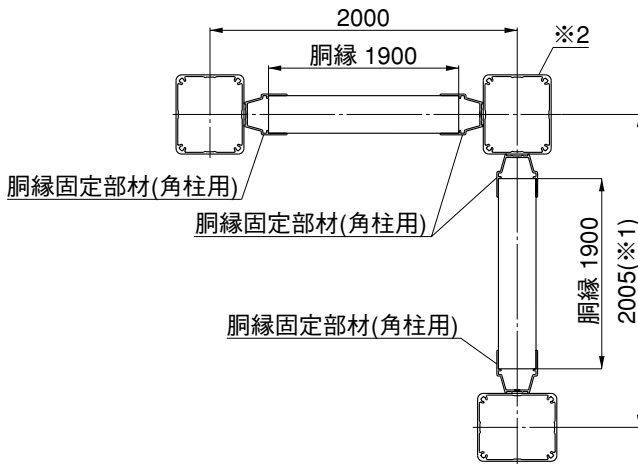
3.つづき

3-2 角柱とコーナー柱の組合せの場合



- ① コーナー柱(丸柱)を施工される際には、コーナー柱の本数分だけ間仕切り枠材セット(丸柱用)を準備して下さい。
- ② 左図を参考に、柱の形状に合った胴縁固定部材を取付けて下さい。

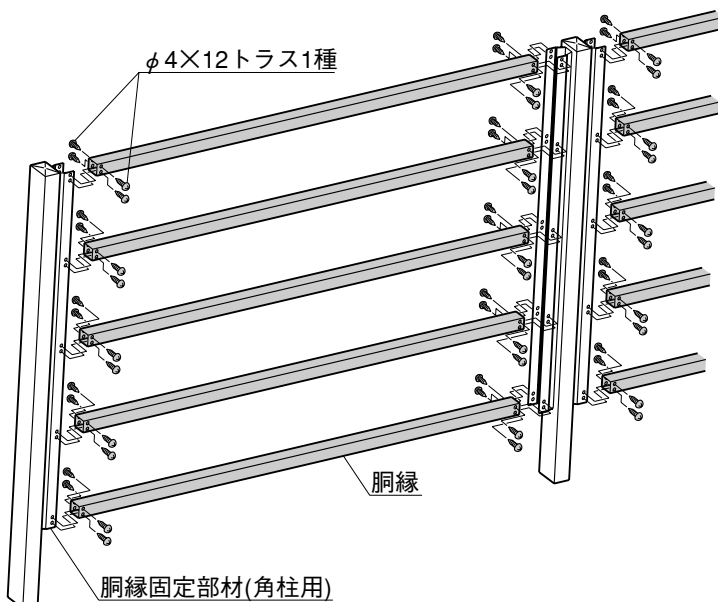
3-3 角柱をコーナー柱として使用する場合(90°のみ)



<注意>

- 柱取付ピッチが違うので注意して下さい。(※1)
- コーナー部分の柱は端部柱を使用して下さい。(※2)
- 胴縁固定部材取付孔は現場にて孔加工して下さい。(P2参照)

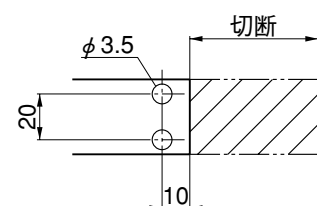
4.胴縁の取付け



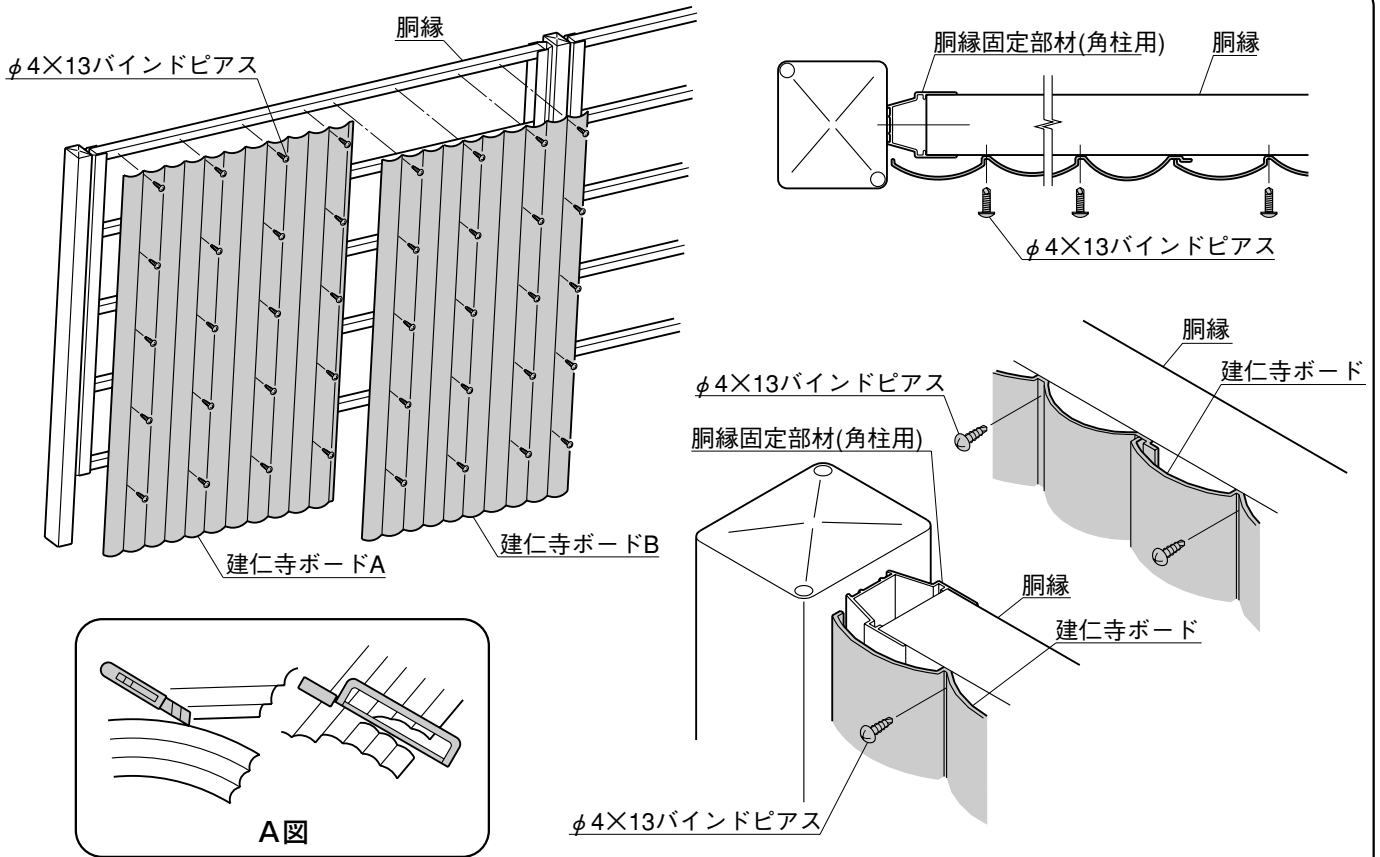
- ① 胴縁を胴縁固定部材にφ4×12トラス1種ネジで固定して下さい。

<注意>

- 現場にて胴縁を切断する場合は、端部に取付用の孔加工をして下さい。



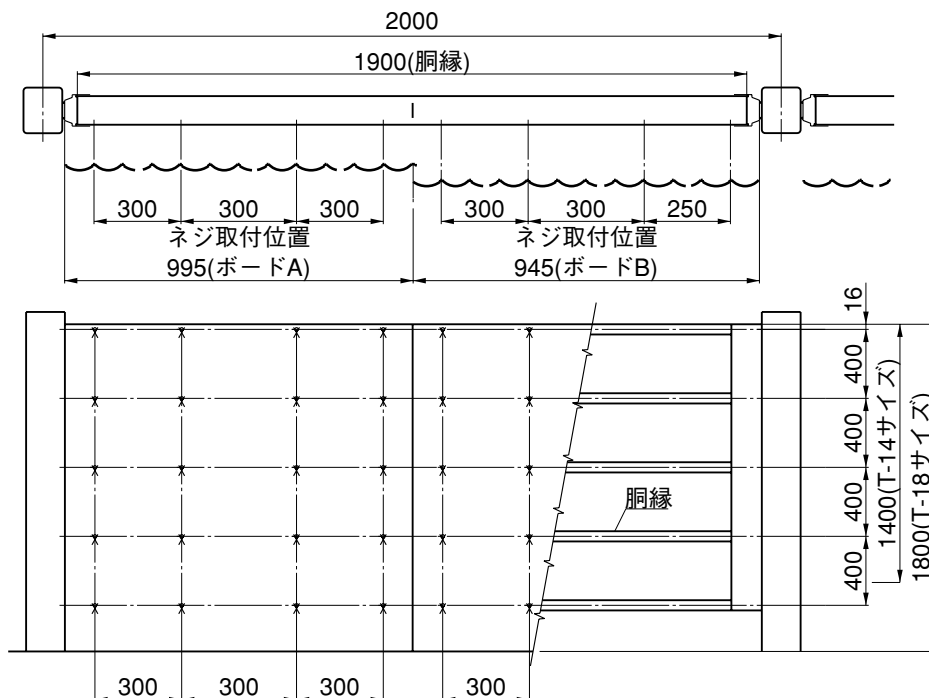
5.ボードの取付け



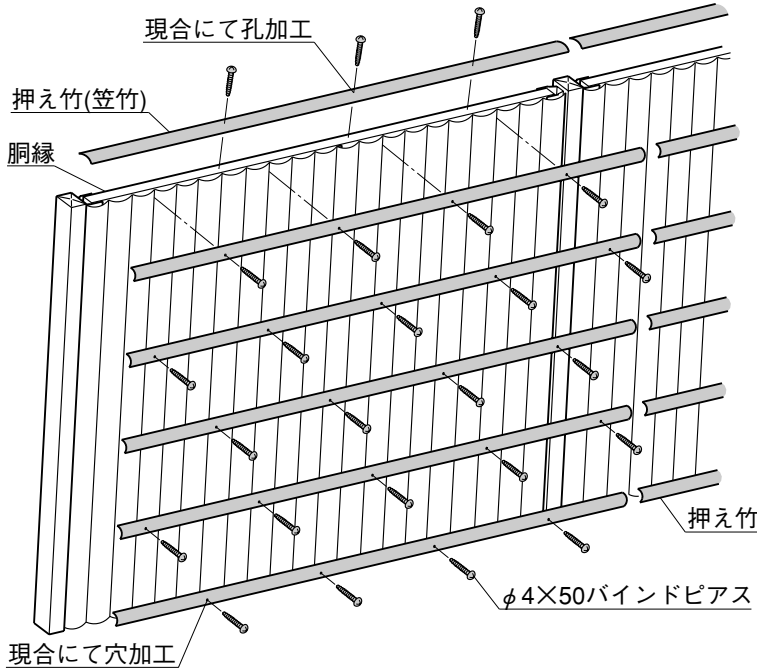
- ① 上図の通り、建仁寺ボードA、Bを重ねてφ4×13バインドピアスネジで建仁寺ボードを桐縁に固定して下さい。
(ボードには取付用の孔加工はしてありません)
- ② 両面にボードを取付ける場合は、①と同じ作業で裏側に取付けて下さい。

<注意>

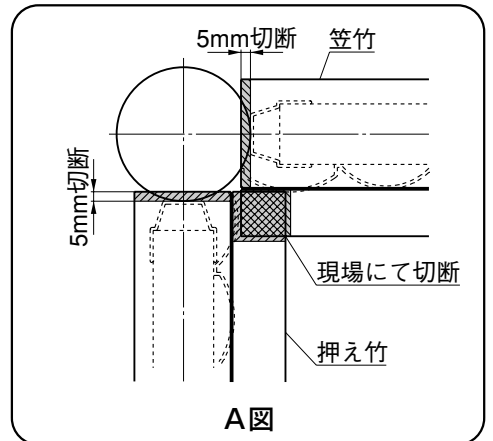
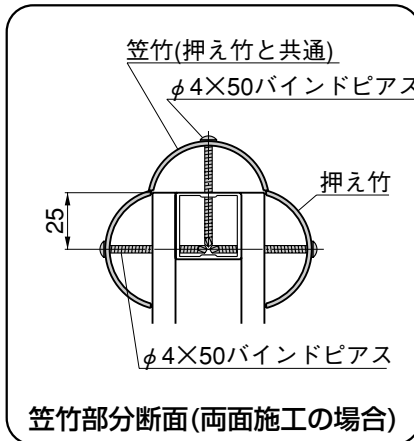
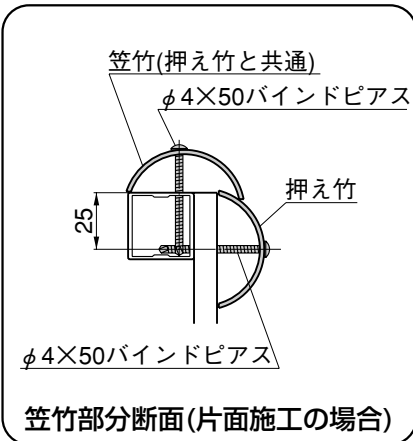
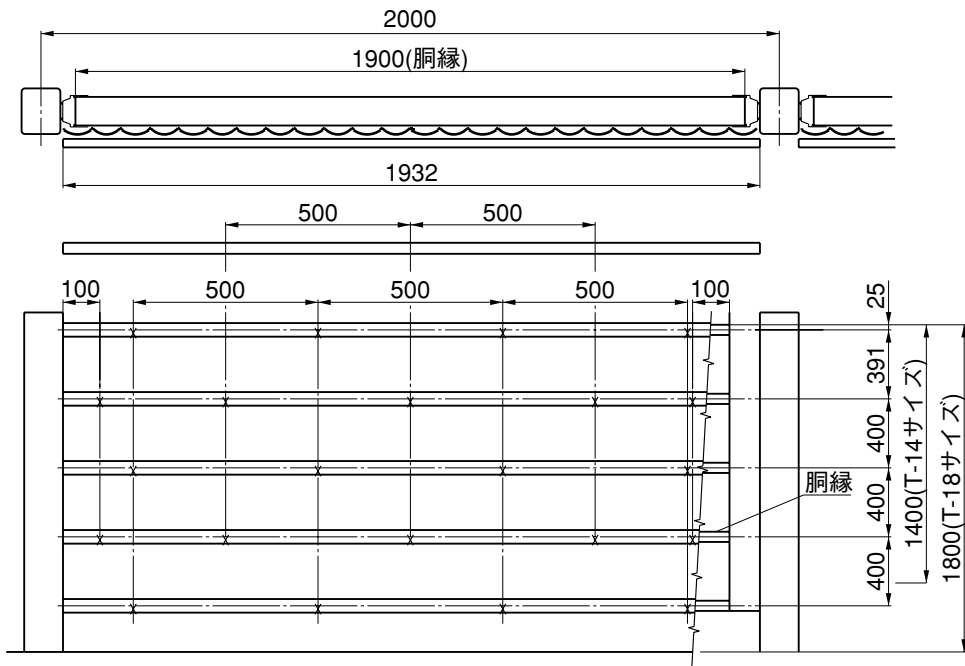
- 建仁寺ボードを現場にて幅詰めされる場合は、ノコギリやカッターで切断加工して下さい。(A図参照)



6. 押え竹の取付け

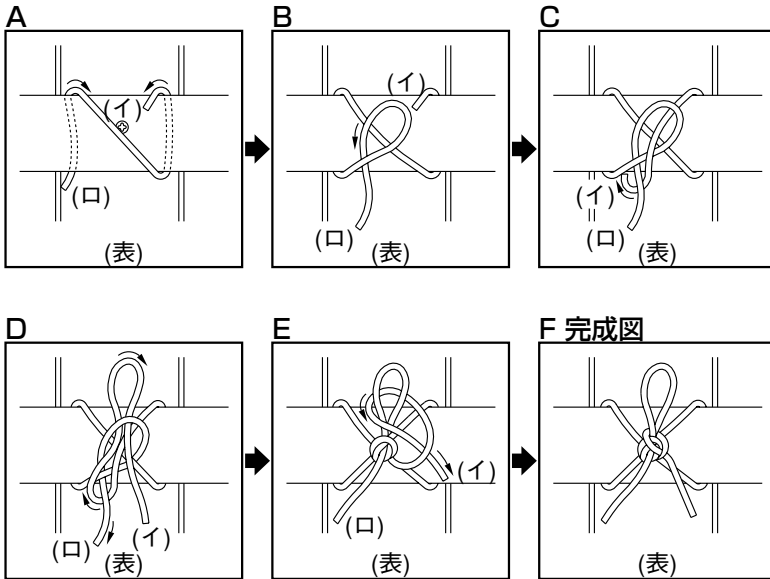


- ① 押え竹を胴縁へφ4×50バインドピアスネジで固定して下さい。
- <注意>
- 押え竹の孔加工は現場にて行なって下さい。胴縁には取付用の孔加工はしてありません。
 - ② 丸柱の場合は、笠竹部分の両端を5mmずつ切断して下さい。(A図参照)
(角柱は必要ありません。)
 - ③ コーナー部分の押え竹は重なり合う部分を現場にて切断して下さい。(A図参照)



7.シュロ縄のしぼり方

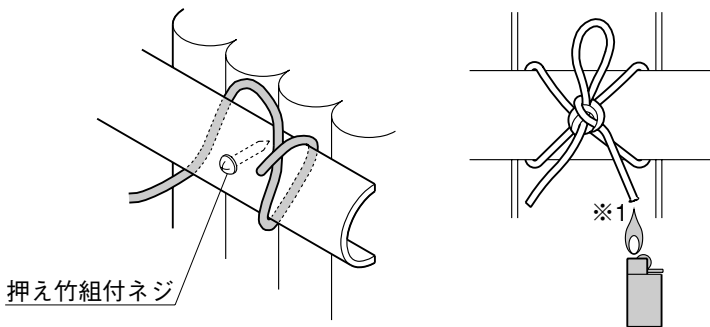
7-1 押え竹の場合



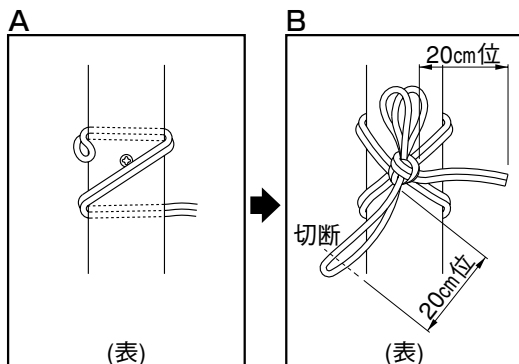
- ① A図のように、シュロ縄を半割竹に巻き付けて下さい。
- ② B図のように、(口)の部分で輪を作りC図のように(イ)を通して下さい。
- ③ (イ)をもう一度D図のように輪の中に通して、(口)を引いて下さい。
- ④ E図のように、D図で作った輪に(イ)を巻き付けて、→方向に引いて下さい。これで完成です。

<注意>

- シュロ縄は、押え竹組付ネジの位置に合わせて取付けて下さい。
- 縄をしぼった後、先端をライター等でとかしてほどけないようにして下さい。(とかしすぎに注意して下さい。)(※1)



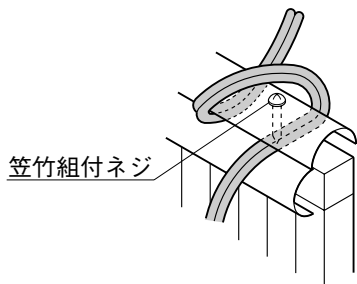
7-2 笠竹の場合



- ① A図のように、シュロ縄を2重にして半割竹に巻き付けて下さい。
- ② しぼり方は、押え竹の場合と同様の手順でしぼって下さい。
- ③ 完成後、B図のように(イ)の先端を切断して下さい。

<注意>

- シュロ縄は、笠竹組付ネジの位置に合わせて取付けて下さい。



工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。
硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- みだりに改造、変更はしないでください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

- 御使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- 月に一度程度のお手入れで美しさが長く保てます。汚れの軽い場合は水にぬらした柔らかいぞうきんで拭き取ってください。
また汚れのひどい場合はうすめた中性洗剤で拭き取ったのち洗剤が残らないように拭き取ってください。

取説コード

C181

BWM602229D
97-01A
201607_1049